

敷地

1:25,000

500m 0 500 1000 1500

図一 案内 図

宇都宮西部

至上戸祭

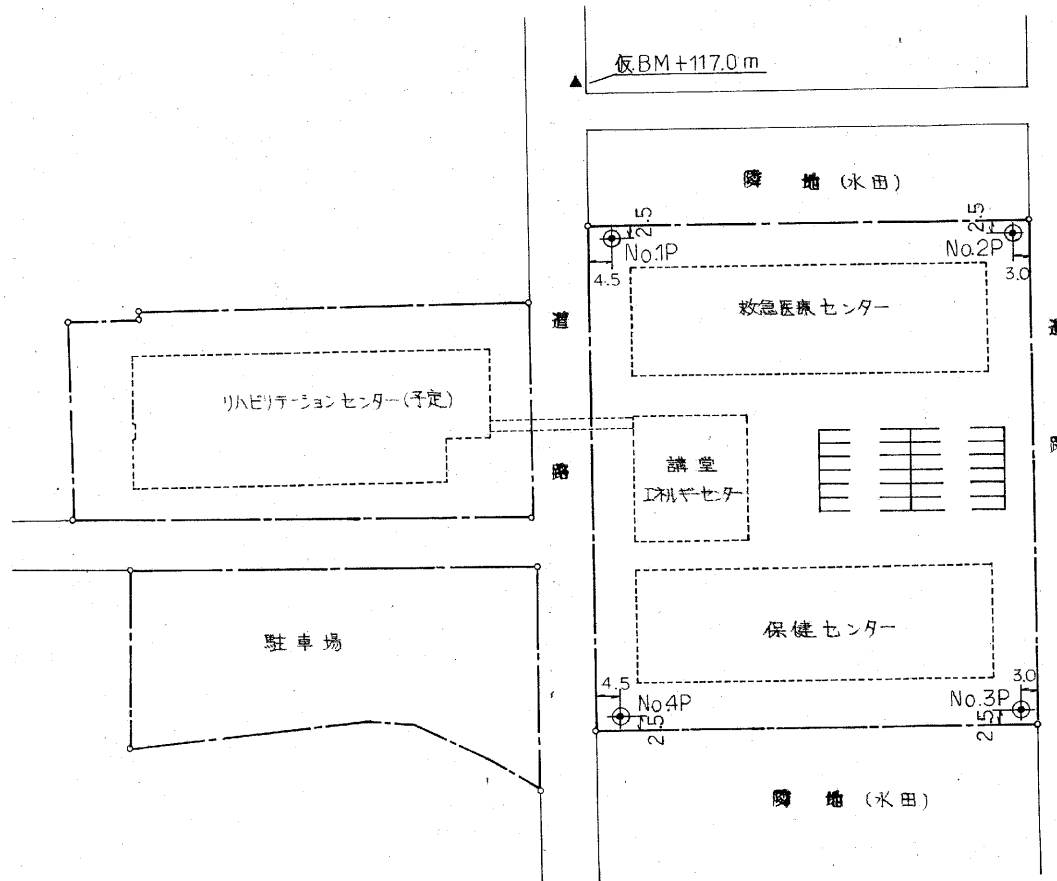
至日光

至日光

至鹿沼

至マニマニ

至マニマニ

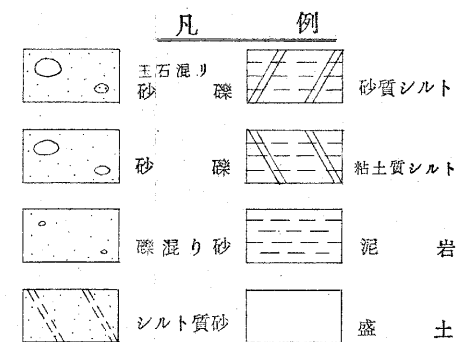
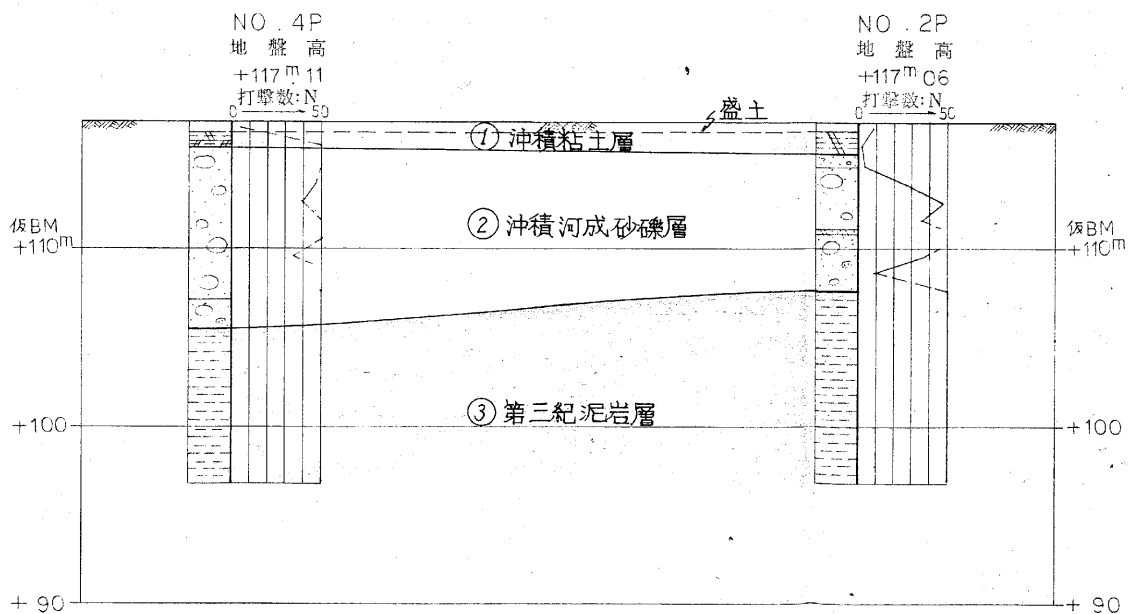
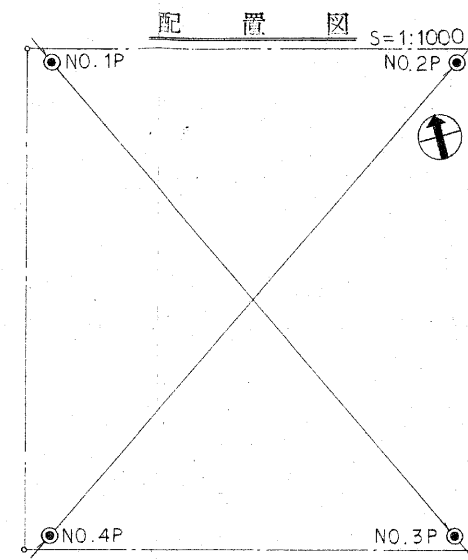
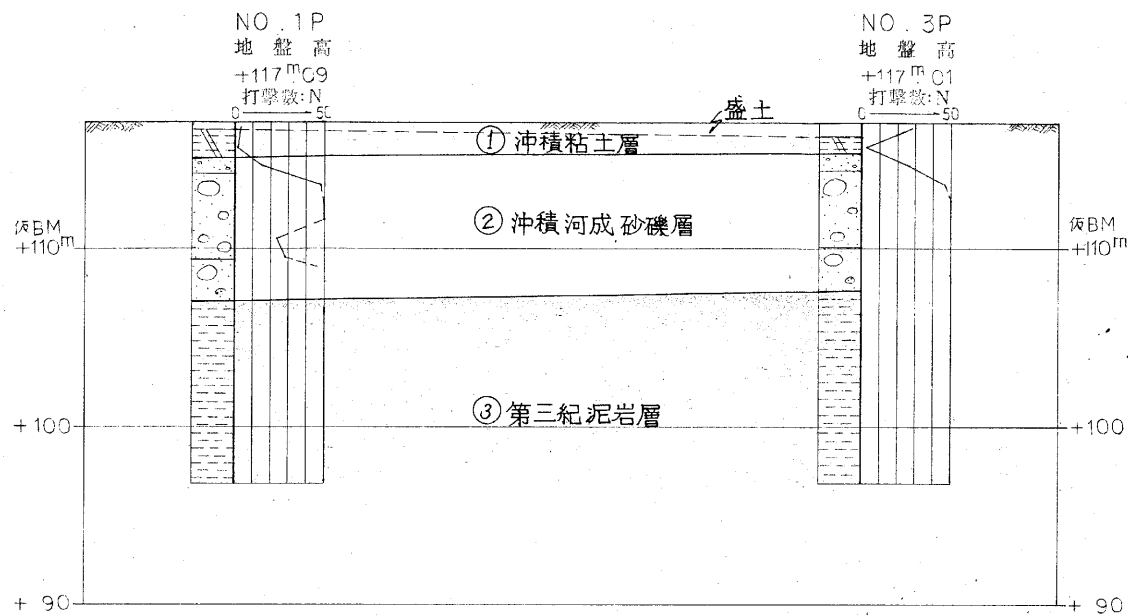


調査内容

地点	ボーリング深度(m)	地盤高(m)
No.1P	20.25	仮B.M. +117.09
No.2P	20.20	+117.06
No.3P	20.20	+117.01
No.4P	20.30	+117.11

- 注) 1. P: 標準貫入試験
 2. 地盤高は(仮称)医療センター測量平面図の仮BM+117.0mより測量しました。

守都宮市医療保健センター
 新築工事に伴う
 地質調査平面図 S=1:1000



宇都宮市医療・保健センター
 新築工事に伴う土質調査
 地層断面図 タテ S=1:300
 ヨコ S=1:1000

宇都宮市医療保健センター
新築工事に伴う土質調査柱状図

調査年月日 昭和 55 年 5 月 30 日 ~ 6 月 1 日
 地点番号 No.1P
 調査工法 標準貫入試験
 地盤高 仮B.M +117.09
 自然水位

注1: N値は特記なき限り各深度とも0.15~0.45m間の打撃数を示す。

注2: 孔内泥水位というのは1日の作業が終了した時孔内に粘土水を一杯に盛って置き翌朝その粘土水位を測定(一晩のうち若干降下)したものである。たとえば深度mのところはG.L. - mとあればm掘った時の粘土水位が一晩でG.L.からm降下したわけである。この値は大體地下水が高いか低いかの目安を表わしているものである。

株式会社 日建設計

現場担当者

孔内泥水位 m	標高 m	深 度 m	土記 質 号	土質 名	色調	クレム 試験 番号	10cm毎の 打撃数		標準貫入試験打撃数 (N値)					記 事				
							0	10	20	30	40	50						
11.5	6/31	0.40		盛土	黄茶色	1	1	1	2									
12.0	6/1	1		粘土質シルト	暗茶色	2	1	1	1									
		2		礫混り砂	薄茶色	3	4	4	7									
		3.90				3	13	18	17									
		4				3	16	16	19									
		5			暗茶灰色	3	17	17	21									
		6			茶灰色	4	12	6	6									
		7				5	9	10	10									
		8				5	貫入不能											
		9				5	貫入不能											
		10				6	13	28	9									
		11				6	15	30	15									
		12				7	48	12	3									
		13				7	53	7	1									
		14				8	60											
		15				8	62											
		16				8	60											
		17				8	60											
		18				9	60											
		19				9	60											
		20				9	60											
		25				10	60											

宇都宮市医療保健センター
新築工事に伴う土質調査柱状図

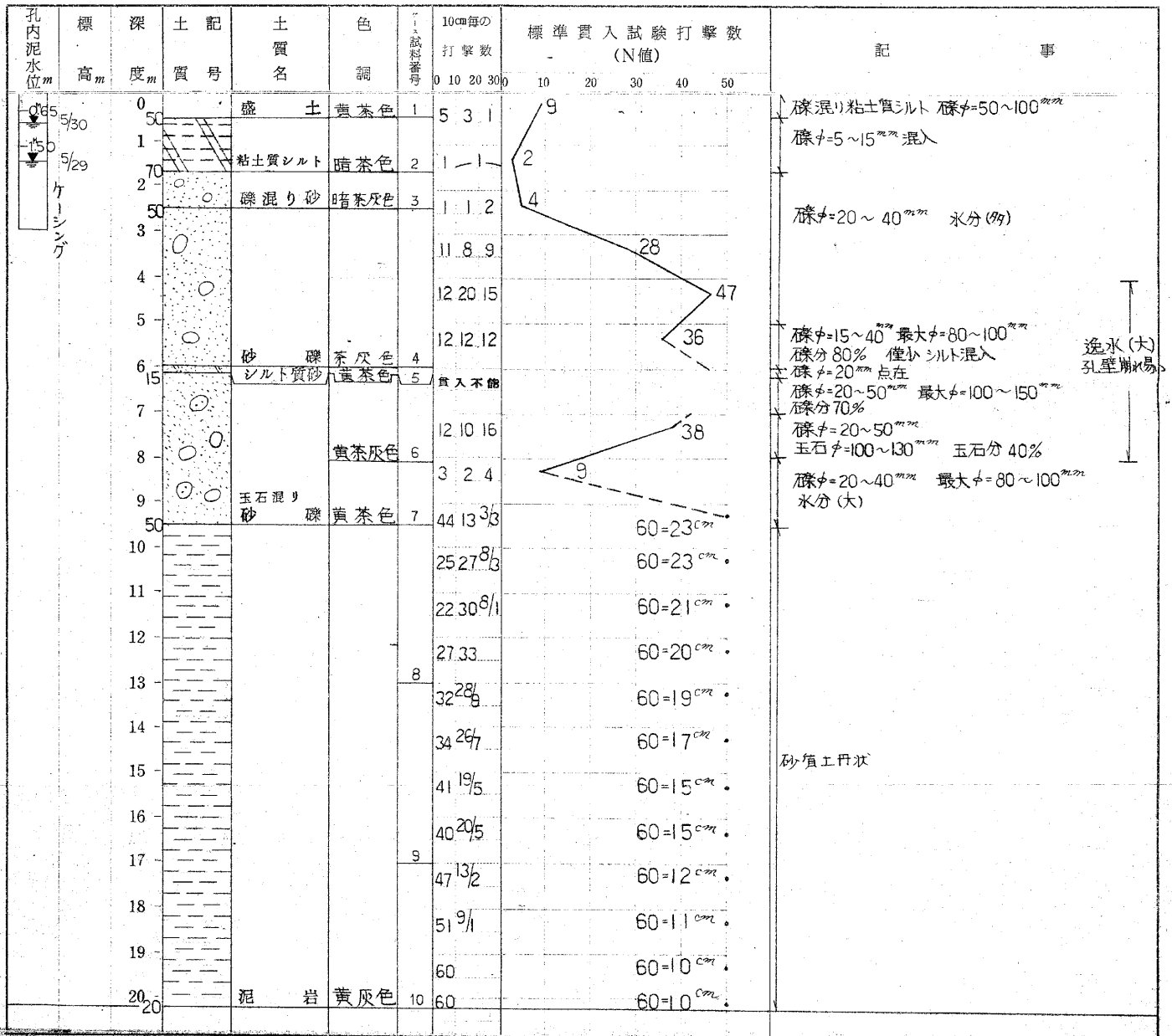
調査年月日 昭和 55 年 5 月 28 日 ~ 5 月 30 日
 地点番号 No. 2P
 調査工法 標準貫入試験
 地盤高 仮B.M + 117.06
 自然水位

注1: N値は特記なき限り各深度とも0.15~0.45m間の打撃数を示す。

注2: 孔内泥水位というのは1日の作業が終了した時孔内に粘土水を一杯に溜らせておき、翌朝その粘土水位を測定(一晩のうち若干低下)したものである。たとえ深度mのところをG.L. mとあればm掘った時の粘土水位が一晩でG.L.から m 低下したわけである。この値は大体地下水が高いか低いかの目安を表わしているものである。

株式会社 日建設計

現場担当者



逸水(大)
孔壁崩れあり

砂質土層状

宇都宮市医療保健センター

新築工事に伴う土質調査柱状図

調査年月日 昭和 55年 6月 3日 ~ 6月 5日

地点番号 No. 3P

調査工法 標準貫入試験

地盤高 仮B.M + 117.01

自然水位

注1: N値は特記なき限り各深度とも0.15~0.45m間の打撃数を示す。

注2: 孔内泥水位というのは1日の作業が終了した時孔内に粘土水を一杯に溜めておき、翌朝その粘土水位を測定(一晩のうちに若干降下)したものである。たとえば深度mのところはG.L. - mとあればm崩った時の粘土水位が一晩でG.L.からm降下したわけである。この値は大体地下水が高いか低いかの目安を表わしているものである。

株式会社 日建設計

現場担当者

孔内泥水位 m	標高 m	深 度 m	土記 質 号	土質 名	色 調	試料 番号	10cm毎の 打撃数		標準貫入試験打撃数 (N値)					記 事	
							0	10	20	30	10	20	30		40
64	64	0		盛土	暗灰色	1	10	12	7	29					礫混り粘土質シルト 砂礫 礫φ=20~80mm
65	65	1		粘土質シルト	暗茶色	2	1	1	1	3					
		2		礫混り砂	明茶色	3	8	10	10	28					礫φ=40~80mm シルト混入 礫φ=40~80mm
		3				4	13	16	18	47					
		4				4	14	16	20	50					礫φ=30~80mm 最大φ=100~130mm 透水有り
		5				4	20	20	15	55					
		6		砂 礫	灰色	5	62			62=10cm					玉石φ=100~150mm 玉石分 40% 礫φ=30~60mm
		7				5	貫入不能								
		8		玉石混り砂		6	60	9		60=9cm					崩壊性有り
		9		砂 礫	黄茶色	6	25	35	2	60=12cm					
		10				6	37	23	8	60=18cm					
		11				6	43	17	6	60=16cm					
		12				7	32	28	7	60=17cm					
		13				7	35	25	6	60=16cm					
		14				7	40	20	5	60=15cm					
		15				8	51	9	2	60=12cm					
		16				8	60			60=10cm					
		17				8	60	8		60=8cm					
		18				9	60	8		60=8cm					
		19				9	60	6		60=6cm					
		20		泥 岩	黄灰色	10	60	6		60=6cm					砂質土状

調査年月日	昭和 55 年 6 月 1 日 ~ 6 月 3 日
地点番号	No. 4P
調査工法	標準貫入試験
地盤高	仮B.M +117.11
自然水位	

注1: N値は特記なき限り各深度とも0.15~0.45m間の打撃数を示す。

注2: 孔内泥水位というのは1日の作業が終了した時孔内に粘土水を一杯に詰めておき翌朝その粘土水位を測定(一晩のうち若干降下)したものである。たとえば深度mのところはG.L. - mとあればm掘った時の粘土水位が一晩でG.L.からm降下したわけである。この値は大体地下水が高いか低いかの目安を表わしているものである。

株式会社 日建設計

現場担当者

孔内泥水位 m	標高 m	深 度 m	土記 質 号	土質 名	色調	試験 番号	10cm毎の 打撃数		標準貫入試験打撃数 (N値)					記 事				
							0	10	20	30	40	50						
		0		盛土	黄茶色	1	1	2	2	5								
		60		粘土質シルト	暗黄茶色	2												
		10		砂質シルト	明茶色	3	5	21	27									
		30																
		2																
		3			暗黄茶色		14	19	20									
		4			黄灰色	4	14	16	17									
		5			暗茶灰色		11	15	14									
		6			茶灰色		32	20	8/2									
		6			暗灰色	5	35	25	4									
		7																
		8					11	12	13									
		8					貫入不能											
		9					27	33										
		10		砂礫		6	21	39	4									
		11		玉石混り砂礫	黄茶色	7	9	31	20									
		60																
		12					60											
		13					32	28	16									
		14					36	24	15									
		15				8	35	25	5									
		16					39	21	15									
		17					45	15	2									
		18				9	40	20	13									
		19					37	23	16									
		20		泥岩	黄灰色	10	32	28	7									
		30																

礫φ=30~80^{mm} 軽土混り粘土質シルト
 礫φ=10~30^{mm} 砂礫
 草根混入
 礫φ=40~80^{mm}
 僅少シルト混入
 礫少量
 (暗灰) 玉石混入 φ=150^{mm}
 礫φ=40~50^{mm}
 礫φ=20~50^{mm} シルト混入
 玉石φ=100~150^{mm}
 逸水(多)

崩壊性あり